

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-077444

(43)Date of publication of application : 15.03.2002

(51)Int.Cl.

H04M 11/00

G01N 33/00

G01N 33/02

H04Q 7/38

(21)Application number : 2000-268413

(71)Applicant : NEC ACCESS TECHNICA LTD

(22)Date of filing : 31.08.2000

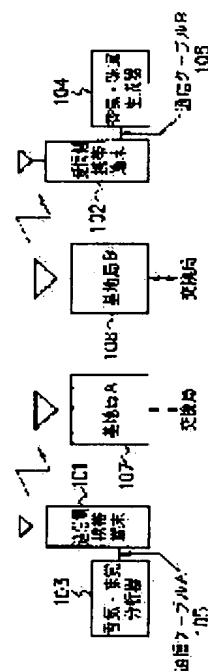
(72)Inventor : YAMAZAKI YASUYUKI

(54) LINE TRANSMISSION SYSTEM FOR ODOR AND TASTE, AND LINE- TRANSMITTING METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a system and a method for line transmission of odor and taste, which reproduce odor and taste components by sending information on chemical formulas and their ratios as the odor and taste components via a network.

SOLUTION: An order and taste analyzer 103 analyzes the chemical formulas and component ratios as to the odor that a body emits and the taste of a food, to obtain analytic data. The obtained analysis data are transmitted from a transmission-side portable terminal 101 to a reception-side portable terminal 102 via base stations A and B. An odor and taste generator 104 reproduces liquid, etc., having an odor and a taste according to the transmitted information data on the chemical formulas, component ratios, etc., of the odor and taste components. Consequently, the odor and taste can be reproduced at a distant place.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-77444

(P2002-77444A)

(43) 公開日 平成14年3月15日 (2002.3.15)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	データ* (参考)
H 0 4 M 11/00	3 0 2	H 0 4 M 11/00	3 0 2 5 K 0 6 7
G 0 1 N 33/00		G 0 1 N 33/00	C 5 K 1 0 1
	33/02		33/02
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 B 7/26	1 0 9 M

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2000-268413(P2000-268413)

(22) 出願日 平成12年8月31日 (2000.8.31)

(71) 出願人 00019/366

エヌイーシーアクセステクノロジ株式会社
静岡県掛川市下俣800番地

(72) 発明者 山崎 康之

静岡県掛川市下俣800番地 静岡日本電気
株式会社内

(74) 代理人 100084250

弁理士 丸山 隆夫

Fターム(参考) 5K067 AA21 BB04 BB21 DD53 EE02
EE10 FF23 FF25 HH23 KK13
KK15

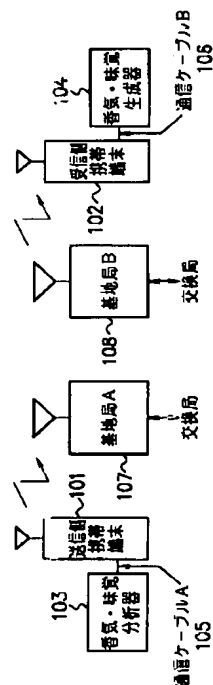
5K101 LL01 LL12 NN01 NN11

(54) 【発明の名称】 香気・味覚の回線伝達システムおよび回線伝達方法

(57) 【要約】

【課題】 ネットワークを介して芳香及び味覚成分である化学式やその比率の情報を送り再生に供する香気・味覚の回線伝達システムおよび回線伝達方法を得る。

【解決手段】 香気味覚分析器103で物体の発する香気や食品の味についてその化学式や成分比率を分析し分析データを取得する。取得した分析データは、送信側携帯端末101から基地局A、Bを介して受信側携帯端末102へ伝達される。香気味覚生成器104は、伝達された香気や味覚成分の化学式や成分比率等の情報データに基づき香気や味の付いた液体等を再現する。これにより、香気や味覚を遠隔地において再生可能とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定の物体の発する香気や食品の味について化学式や成分比率を分析し該分析データを取得する香気味覚分析器と、

前記分析データから香気・味の付いた液体等を再現する香気味覚生成器と、

前記香気味覚分析器と香気味覚生成器との間を接続し前記香気や味覚成分の化学式や成分比率等の分析データの情報をやり取りする情報伝達用の回線とを有して構成され、

前記香気や味覚を前記回線を介して伝達し再現可能としたことを特徴とする香気・味覚の回線伝達システム。

【請求項2】 前記回線は、インターネットまたは無線信号により前記分析データの送受信が可能な携帯電話機やPDA等の情報通信装置である送信側携帯端末、及び受信側携帯端末を具備して構成されたことを特徴とする請求項1記載の香気・味覚の回線伝達システム。

【請求項3】 前記香気味覚分析器が前記香気や味覚の成分分析を行い、該成分分析された化学式と成分比率データを前記送信側携帯端末から前記受信側携帯端末に送り、該受信側携帯端末に送られてきた化学式と成分比率データに基づき前記香気味覚生成器が前記香気や味覚を生成し再現することを特徴とする請求項2記載の香気・味覚の回線伝達システム。

【請求項4】 前記香気・味覚の回線システムは、毒物・その他気分を害する物質の送信、および再生を禁止する危険物再生禁止手段をさらに有することを特徴とする請求項1から3の何れかに記載の香気・味覚の回線伝達システム。

【請求項5】 所定の物体の発する香気や食品の味について化学式や成分比率を分析し該分析データを取得する香気味覚分析工程と、

前記香気味覚分析工程により分析された前記香気や味覚成分の化学式や成分比率等の分析データの情報を回線を介して送信する送信工程と、

前記送信された分析データを受信する受信工程と、

前記受信した分析データから香気・味の付いた液体等を再現する香気味覚生成工程とを有して構成され、

前記香気や味覚を前記回線を介して伝達させ再現可能としたことを特徴とする香気・味覚の回線伝達方法。

【請求項6】 前記香気味覚分析工程で前記香気や味覚の成分分析を行い、該成分分析された化学式と成分比率データを前記送信工程により前記受信工程へ送り、該受信工程へ送られてきた化学式と成分比率データに基づき前記香気味覚生成工程で前記香気や味覚を生成することを特徴とする請求項5記載の香気・味覚の回線伝達方法。

【請求項7】 前記香気・味覚の回線方法は、毒物・その他気分を害する物質の送信、および再生を禁止する危険物再生禁止工程をさらに有することを特徴とする請求

項5または6に記載の香気・味覚の回線伝達方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、香気・味覚の回線伝達システムおよび回線伝達方法に関し、例えば、回線を利用した香気及び味覚の伝達システム、並びに、回線を利用した香気及び味覚の伝達方法に関する。

【0002】

【従来技術】従来、香気・味覚は、いわゆる、心の癒し等に用いられ、近年の健康ブームにより、芳香によって緊張をほぐしたり、眠りを深くさせ心身をリラックスさせるアロマセラピーが人気になりつつある。

【0003】この香気及び味覚の伝達を、本発明では回線を利用して実行するシステムおよび方法に関し、ビジネスモデルとしても適用される。

【0004】この伝達を構成する一方の電子メールやインターネット等は、昨今の情報化社会では、文字や画像などの視覚による情報伝達において充実している。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の伝達において、他方の芳香や味覚については技術的な難しさから発達していない。

【0006】今後、芳香や味覚についても電子化されることが予想され、これらの情報伝達機器の商品化の要望も高まっていることも事実である。

【0007】本発明は、ネットワークを介して芳香及び味覚成分である化学式やその比率の情報を送り再生に供する香気・味覚の回線伝達システムおよび回線伝達方法を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】かかる目的を達成するため、請求項1記載の発明の香気・味覚の回線伝達システムは、所定の物体の発する香気や食品の味について化学式や成分比率を分析しこの分析データを取得する香気味覚分析器と、分析データから香気・味の付いた液体等を再現する香気味覚生成器と、香気味覚分析器と香気味覚生成器との間を接続し香気や味覚成分の化学式や成分比率等の分析データの情報をやり取りする情報伝達用の回線とを有して構成され、香気や味覚を回線を介して伝達し再現可能としたことを特徴としている。

【0009】また、上記の回線は、インターネットまたは無線信号により分析データの送受信が可能な携帯電話機やPDA等の情報通信装置である送信側携帯端末、及び受信側携帯端末を具備して構成され、香気味覚分析器が香気や味覚の成分分析を行い、この成分分析された化学式と成分比率データを送信側携帯端末から受信側携帯端末に送り、受信側携帯端末に送られてきた化学式と成分比率データに基づき香気味覚生成器が香気や味覚を生成し再現し、さらに、上記の香気・味覚の回線システムは、毒物・その他気分を害する物質の送信、および再生

を禁止する危険物再生禁止手段を有するとよい。

【0010】請求項5記載の発明の香気・味覚の回線伝達方法は、所定の物体の発する香気や食品の味について化学式や成分比率を分析しこの分析データを取得する香気味覚分析工程と、香気味覚分析工程により分析された香気や味覚成分の化学式や成分比率等の分析データの情報を回線を介して送信する送信工程と、送信された分析データを受信する受信工程と、受信した分析データから香気・味の付いた液体等を再現する香気味覚生成工程とを有して構成され、香気や味覚を回線を介して伝達させ再現可能としたことを特徴としている。

【0011】また、上記香気味覚分析工程で香気や味覚の成分分析を行い、成分分析された化学式と成分比率データを送信工程により受信工程へ送り、この受信工程へ送られてきた化学式と成分比率データに基づき香気味覚生成工程で香気や味覚を生成し、香気・味覚の回線方法は、さらに、毒物・その他気分を害する物質の送信、および再生を禁止する危険物再生禁止工程を有するとよい。

【0012】

【発明の実施の形態】(第1の実施例)次に、添付図面を参照して本発明による香気・味覚の回線伝達システムおよび回線伝達方法の実施の形態を詳細に説明する。図1から図16を参照すると、本発明の香気・味覚の回線伝達システムおよび回線伝達方法の一実施形態が示されている。

【0013】本実施形態の香気・味覚の回線伝達システムおよび回線伝達方法では、携帯電話機やインターネット等の情報伝達用の回線と、物体の発する香気や食品の味についてその化学式や成分比率を分析し分析データを取得する香気味覚分析器と、上記分析データから香気・味の付いた液体等を再現できる香気味覚生成器を利用し、香気や味覚成分の化学式や成分比率等の情報データを上記回線を介してやり取りすることにより、香気や味覚を伝達させる。この内容を以下に詳述する。

【0014】図1は、携帯電話機を利用した本実施形態に係わるネットワーク構成の一例を示す図である。この図1を参照すると、本発明の第1の実施例は、無線信号によりデータの送受信が可能な携帯電話機やPDA(Personal Digital Assistant)等の情報通信装置である送信側携帯端末101、及び受信側携帯端末102と、香気や味覚の成分分析を行い、その化学式と成分比率データを送信側携帯端末101に送る香気味覚分析器103と、回線を介して受信側携帯端末102に送られてきた化学式と成分比率データに基づき、香気や味覚を生成する香気味覚生成器104と、携帯端末と香気味覚分析器103及び香気味覚生成器104間でデータ通信を行うために接続する通信ケーブルA105と通信ケーブルB106と、基地局A107と、基地局B108とから構成されている。

【0015】また、基地局A107が構成するサービスエリアに送信側携帯端末101が存在し、基地局B108が構成するサービスエリアに受信側携帯端末102が存在するものとし、基地局A107及び基地局B108は、それぞれ交換局と不図示の制御線で接続されているものとする。

【0016】一方、香気味覚分析器103と、香気味覚生成器104は、両機能を併せ持った一体型となってもよく、また、それぞれ送信側携帯端末101、受信側携帯端末102内に含まれていてもよい。

【0017】図2は、本実施形態に係わる香気味覚分析器103の内部構成例を示す、より詳細なブロック図である。香気味覚分析器103は、香気を吸引する香気吸引部201と味覚を抽出する味覚抽出部202とを有する。まず、香気吸引部201では、香気203を発する物体204に香気吸引部201を近づけ、香気味覚分析器103の機能操作を行うスイッチ類で構成された操作部207から操作が行われることによって、制御部212は香気吸引部201に対し、香気203を取り込むよう命令する。

【0018】一方、味覚抽出部202では、食品205を入れる容器206を有し、食品205を容器206に入れて味覚抽出部202の容器収納部208に組み込み、操作部207から操作を行うことによって、制御部212は味覚抽出部202に対し味覚成分209を抽出するよう命令する。

【0019】香気吸引部201と味覚抽出部202にて採取された香気203及び味覚成分209は、香気味覚成分分析部210にて、香気203及び味覚成分209に含まれる成分の化学式とその成分比率を分析し、香気味覚情報データ211として制御部212を介し、香気味覚情報データ記憶部213に一旦記憶させる。この時、記憶させるデータが香気データか味覚データかの区別を、データに例えば香気データなら「0」、味覚データなら「1」といったフラグ立てることにより区別させる。なお以降においては、香気味覚情報データは上記の区別フラグを含んだ形として表記する。

【0020】そして、送信側携帯端末101から香気味覚情報データ211を送信する際、送信側携帯端末101から香気味覚情報データ211を出力するよう、通信ケーブルA105を介し制御部212に対して命令される。制御部212では、香気味覚情報データ211を出力させる命令を送信側携帯端末101から受けると、香気味覚データ記憶部213から香気味覚情報データ211を出力させ、制御部212を介した後、香気味覚情報データ処理部214に送り、送信側携帯端末101から送信するのに適切なデータに変換した後、通信ケーブルA105を介して送信側携帯端末101に香気味覚データを出力する。

【0021】図3は、本実施形態に係わる香気味覚生成

器104の内部構成例を示したより詳細なブロック図である。本実施形態に適用される香気味覚生成器104は、香気味覚情報データ解析部302、制御部303、香気味覚情報データ記憶部304、操作部305、データ処理部306、香気生成部307、味覚生成部308、香気放出部309、生成液体313を収容した容器312、を有して構成される。

【0022】回線を介して受信側携帯端末102に送られてきた香気味覚情報データ301は、通信ケーブルB106を介し、香気味覚情報データ解析部302にてその成分の化学式とその成分比率を解析する。解析された香気味覚情報データ301は、制御部303を介して香気味覚情報データ記憶部304に一旦記憶される。

【0023】その後、ユーザによって香気味覚生成器104の操作部305から、香気味覚情報データ記憶部304に記憶されている香気味覚情報データ301に基づき、香気または味覚を生成するよう命令されると、制御部303は、香気味覚情報データ記憶部304に対して香気味覚情報データ301を出力するよう命令を出す。そして、香気味覚情報データ301が制御部303を介して香気味覚情報データ処理部306に入力されると、香気味覚情報データ処理部306では、香気味覚情報データ301の上記区別フラグに基づき、フラグが「0」なら香気生成部307へ、「1」なら味覚生成部308へとそれぞれ香気味覚データ301を出力する。香気生成部307では、香気味覚情報データ301を基に香気を再生させ、香気放出部309から香気310を放出する。

【0024】一方、味覚生成部308では、香気味覚情報データ301を基に味覚を感じることが出来る液体313を生成し、味覚生成部308内の容器収納部311に配置されている容器312に上記液体313を入れる。ここで、生成液体313は、液体でなくてもよく、飴やガムといった固形であってもよいものとする。

【0025】図4は、香気味覚分析器103、及び香気味覚生成器104における香気味覚情報データの記憶部213、及び記憶部304に格納する香気味覚情報データの内部テーブルの一例を示したものである。図4

(a)は、内部テーブルの構成例を示し、ファイル名401、識別フラグ402、化学式403、比率404により構成される。また、図4(b)は、内部テーブルのより詳細な構成例を示し、File1の構成例と、File2の構成例とを示している。

【0026】採取された香気及び味覚は、図4に示すように、ファイル名401、識別フラグ402、化学式403、比率404のデータを有して構成される。本構成に成る香気及び味覚データには、個々の香気・味覚ファイル毎に、香気味覚識別フラグと、含まれる成分の化学式及びその比率データがそれぞれ格納される。

【0027】図5は、本実施形態に係わる送受信用携帯

端末101、及び102の一例として、携帯電話機の外観図を示している。また、図6は、内部構成のより詳細なブロック図の一例を示したものである。

【0028】図5の外観図において、本実施形態に適用される携帯電話機は、アンテナ501、外部接続端子505、受話部506、送話部507、表示部509、操作部510を有して構成される。また、内部構成を示す図6において、本実施形態に適用される携帯電話機は、アンテナ501、無線部502、信号処理部503、CPU504、外部接続端子505、受話部506、送話部507、報知部508、表示部509、操作部510、ROM511、RAM512、を有して構成される。

【0029】図5および図6において、無線部502は、不図示の基地局からの送信信号を、アンテナ501にて受信して復調する。信号処理部503は、無線部502にて復調された信号から受信制御信号と音声信号とに分離し、音声信号を受話部506に出力する一方、受信制御信号をCPU504に出力する。香気味覚情報データは、受信制御信号に含まれており、外部放出端子505を介して外部に出力される。

【0030】また、信号処理部503は、送話部507からの音声信号と、外部接続端子505から入力された香気味覚情報データとを送信信号として処理し、無線部502に出力する。報知部508は、着信時に着信報知を行うもので、スピーカ、LED及びバイブレータのうち少なくとも1つであることが好ましい。表示部509は、時刻情報、相手先電話番号および通信圏外であるか否かに係る情報等を表示するものであり、LCDもしくはCRTが好ましい。操作部510は、各種設定、送信時等に押下されるもので、テンキーを含む。ROM511には自機全体の制御プログラムデータが格納されており、RAM512には相手先電話番号データ等が格納される。

【0031】(動作例) 本発明の実施例の動作を図面を参照して説明する。図7～図15は、以下の動作説明において適用される画面の表示例を示している。また、図16、図17、図18は、ビジネスモデルを構成するインターネットを介した事業者端末と香気・味覚生成器の接続構成例を示す図である。

【0032】図7は、携帯端末表示部509に表示されるメニュー画面の表示一例である。図8は、携帯端末表示部509に表示される香気味覚情報データ記憶部213内に記憶されている香気味覚情報データ一覧の表示一例である。図9は、携帯端末表示部509に表示される送信先電話番号一覧の表示一例である。図10は、携帯端末表示部509に表示されるデータ送信実行確認を示す表示一例である。

【0033】まず、香気味覚情報データを送信側携帯端末101を使って送信する際の実施例の動作について説

明する。送信側携帯端末101において、ユーザが操作部510から操作を行うと、表示部509上には図7に示すメニュー画面が表示される。メニュー画面に表示されているメニュー項目を実行する場合、メニュー項目において文字が白黒反転している部分がカーソル位置であり、操作部510の操作で上記カーソル位置が移動した状態を表示している。

【0034】図7の「送信ファイル」上にカーソルを合わせ、操作部510からの操作により実行すると、外部接続端子505から通信ケーブルA105を通じて、香気味覚情報データ記憶部213内に記憶されている香気味覚情報データがファイル一覧として、図8のように表示部509上に表示される。そこで上記メニュー項目選択時と同様、操作部510からの操作により、送信したいファイル上にカーソルを合わせて実行する。すると、次に表示部509は、図9に示すように、ユーザによってRAM512内にあらかじめ登録されている電話番号一覧を表示し、上記メニュー項目選択時と同様、送信したい相手先の電話番号にカーソルを移動して選択する。すると、図10に示す選択したファイルと相手先電話番号に送信するか否かの選択肢が表示されるので、「送信」を選択し実行すると、基地局A107に対して送信が行われる。

【0035】次に、基地局A107から基地局B108を介して、送信側携帯端末101から送られてきた香気味覚情報データに基づき、受信側にて香気・味覚を生成する動作について説明する。

【0036】送信側の携帯端末101から送られてきた香気味覚情報データが受信側携帯端末102側に着信すると、表示部509では図11に示すような着信を示す表示と、報知部508によるスピーカ鳴音等により着信を知らせる。そして、受信した香気味覚情報データは、一旦、受信側携帯端末102のRAM512内に格納される。

【0037】その後、ユーザが受信側携帯端末102の操作部510から操作を行うと、表示部509上には、上記香気味覚情報データ送信時と同様に図7に示すメニュー画面が表示される。操作方法も上記香気味覚情報データ送信時と同様、「受信ファイル」上にカーソルを合わせ、操作部510からの操作により実行すると、RAM512に一時保管されている香気味覚情報データファイルの一覧が図8のように表示部509上に表示される。

【0038】図8の表示において、ファイル一覧から香気味覚生成器104にデータを転送したいファイルを選択し、受信側携帯端末102と香気味覚生成器104が通信ケーブルB106で接続された状態で実行すれば、表示部509には図12に示すデータ出力確認の表示がされる。そこで「YES」を選択し、実行することによって、RAM512に一時保管されている香気味覚情報

データは、外部接続端子505から通信ケーブルA105を通じて香気味覚生成器104内の香気味覚情報データ記憶部304内に転送される。そして、転送された香気及び味覚を生成する場合には、香気味覚生成器104の操作部305からの操作により、香気生成部307及び味覚生成部308にて生成される。

【0039】(第2の実施例)次に本発明の第2の実施例について図面を参照して詳細に説明する。図1における送信側携帯端末101、及び受信側携帯端末102は、電子メール機能を有し、TEXT形式で作成したメール本文と、メール本文とは別に作成されたデータを添付ファイルとして送受信できる機能を有するものとする。第2の実施例は、これらの機能を利用して電子メールに香気味覚データを添付し、着信メールを確認する際、香気や味覚を同時に生成する方法である。

【0040】TEXT形式でメール本文を作成した後、操作部510からの操作により図13に示す電子メールメニューを開く。操作方法は第1の実施例と同様、メニュー項目の「添付ファイル」を選択し実行する。香気味覚情報データが香気味覚情報データ記憶部213に記憶させている状態であれば、図8に示すように記憶させてある香気味覚情報データファイルの一覧が表示される。そして操作部510からの操作により、その香気味覚情報データのファイル名を選択し実行すると、先に作成したメール本文に添付するファイルとして登録される。送信する際には、前述の図13電子メールメニューから「送信」を選択し、実行することにより送信される。

【0041】一方、受信側携帯端末側で電子メールの着信があると、表示部509に図14に示すメール着信の旨を知らせる表示と、報知部508によるスピーカ鳴音等により着信を知らせる。その後、操作部510からの操作により、図15に示す着信メール一覧を開くと、メールタイトル左部の花型マーク等により香気または味覚の情報付きであるメールであることが分かるものとする。そして、操作部510からの操作そのメールを選択し実行すると、表示部509のメール本文の表示と共に、添付ファイルが香気データなら香気味覚生成器104の香気放出口309から香気を放出し、味覚データなら味覚生成部308にて味の付いた液体313が生成される。

【0042】(第3の実施例)次に本発明の第3の実施例について図面を参照して説明する。本発明は、図16に示すインターネットを用いたネットワークにおいても利用可能である。

【0043】近年、インターネット上に開設している通信販売のホームページにアクセスし、端末の画面上に表示される製品情報から希望する商品を選べると、通信販売事業者側では注文者からの注文により、宅配便等によりその製品を指定された住所に発送し販売するオンラインショッピングが盛んになってきている。この背景から、

例えば、香水などのオンラインショッピングにおいて、注文者は画面上からサンプル要求のリンク先をクリックすると、香気データをダウンロードでき、香気味覚発生器604で再生される。

【0044】このような芳香製品や食品といった香気や味覚が購入条件となる場合、注文者がその製品の香気味覚情報を得るためには、従来はサンプル等を発送してもらうしか手段が無く、注文者が即座に必要とする情報が得られないという問題があった。しかし、本発明によれば、インターネットによるオンラインショッピングにおいて、香気や味覚が購入条件となる製品でも、注文者がオンライン上で即座にその製品の香気や味覚情報を得られる製品販売システム方法を提供できる。また、ユーザは、送られてきた香気や味覚を元に購入するか否かを定めることができるため、オンラインショップの利便性が格段に向上する。

【0045】また、図16における香気味覚発生器604を空気清浄機などに組み込むことにより、様々な香気データを保有しているアロマテラピーのホームページ等にアクセスし、香気データをダウンロードすれば、ユーザが気分によって様々な香りを利用できるといったビジネスにも展開できる。

【0046】一方、香気味覚データをやり取りするにあたって、悪意で毒物や気分を害する悪臭を送られるケースも考えられる。このため、香気味覚分析器103や香気味覚生成器104内の香気味覚情報データ記憶部213、304に、そのような化学物質をデータベース化しておき、送信するまたは受信した香気味覚情報データと上記データベースとを比較し、一致する場合には、その成分を送信もしくは受信側で再生できないようにする。よって、危険物質をデータベース化しておき、この危険物質に該当すると制御部212、303が判断した場合には、分析データとしての送信を行わない。また、万が一、上記のチェックを漏れて送信されてきた場合にも、受信側の香気味覚生成器104で危険物と判定された場合には、当該物質の再生の実行は行わないものとする。

【0047】本発明によれば、一般的に広く普及されている携帯電話やインターネットを使って、迅速、且つ簡単に香気や味覚の伝達が可能であり、携帯電話の場合、サービスエリア内であれば場所も問わず伝達が可能である。例えば、出先で見つけた食品や花の香りを送れば、離れている相手側がまるでその場に居合わせているような雰囲気を感じ、更に香気や味覚をデータとして伝達する為、メモリ等に香気や味覚を保存でき、必要な時にいつでも再生可能であることから、ユーザの利便性が格段に向上する。

【0048】また、電子メールに香気味覚情報データを添付して送れば、今まで文字という視覚表現でしか伝えられなかった電子メールに香りや味覚による表現が加わるため、電子メールによる表現力がより広がるといった

効果も得られる。

【0049】一方、本発明をインターネットに利用すれば、食品や香水のオンラインショッピング等で試嗅味がオンライン上で可能であり、また、これはデータのやり取りだけであるため、試嗅味に掛かる費用はデータの通信料だけで済む。一方、オンラインショッピング事業者側にとっても、インターネットでサンプルの注文があった際、香気・味覚の成分情報データを注文者側端末に送るだけであるため、端末側で自動発送化すれば、従来、サンプル作成、梱包、宛名書き、発送といった作業は必要なくなり、事業者側の人件費及びサンプル発送料等の費用が格段に節減できるといった効果も得られる。

【0050】(応用例) また、医療としてアロマテラピーが見直されていることもあり、本発明を利用すれば新たな医療ビジネスとしても役立つものとする。応用例を以下に列挙する。

【0051】一例として、患者と病院との間に図17に示すような回線システムが構成されているとし、例えば血圧が高い患者がいれば、病院側の病院端末704から血圧を安定させるような芳香データをインターネット703を通じて患者側の患者端末702に送り、香気味覚生成器701を空気清浄機などに組み込むことにより芳香データを再生すれば、自宅に居ながら適切な治療を受けるといったことが可能である。

【0052】また、香気味覚分析器と香気味覚生成器と一体型とし、図18に示すようなシステムを構築すれば、患者は香気味覚分析生成器801にて血液や尿便の成分データを分析させ、患者端末702からインターネット703を通じて病院端末704に送ることにより在宅したまま簡単な検査を受けることが可能である。一方、逆に病院側からその治療に適した薬の成分データをインターネット703を通じて患者端末702に送り、香気味覚分析生成器801にてその薬を再生させるといった新たな医療ビジネスに展開できる。

【0053】本発明の芳香及び味覚伝達システムサービス方法によれば、携帯電話やインターネット等のネットワークを介して、相手側の芳香味覚発生装置にその芳香及び味覚成分である化学式やその比率の情報を送り、香気及び味覚を回線を利用して伝達させるビジネスモデルを構築することができる。

【0054】尚、上述の実施形態は本発明の好適な実施の一例である。但し、これに限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内において種々変形実施が可能である。

【0055】

【発明の効果】以上の説明より明らかなように、本発明の香気・味覚の回線伝達システムおよび回線伝達方法は、物体の発する香気や食品の味についてその化学式や成分比率を分析し分析データを取得し、この分析した情報を回線を介して伝達し、伝達された分析データから香

気・味の付いた液体等を再現する。これにより、香気や味覚を遠隔地において再生可能とする。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の香気・味覚の回線伝達システムおよび回線伝達方法の実施形態を示す基本システムの構成ブロック図である。

【図2】香気味覚分析器の内部構成例を示す、より詳細なブロック図である。

【図3】香気味覚生成器の内部構成例を示したより詳細なブロック図である。

【図4】香気味覚情報データの内部テーブルの一例を示したものである。

【図5】携帯電話機の外觀図を示している。

【図6】携帯電話機の内部構成例を示すブロック図である。

【図7】画面表示例1を示す図である。

【図8】画面表示例2を示す図である。

【図9】画面表示例3を示す図である。

【図10】画面表示例4を示す図である。

【図11】画面表示例5を示す図である。

【図12】画面表示例6を示す図である。

【図13】画面表示例7を示す図である。

【図14】画面表示例8を示す図である。

【図15】画面表示例9を示す図である。

【図16】インターネットを用いたシステム構成例1を示す図である。

【図17】インターネットを用いたシステム構成例2を示す図である。

【図18】インターネットを用いたシステム構成例3を示す図である。

【符号の説明】

101 送信側携帯端末
102 受信側携帯端末
103 香気味覚分析器
104 香気味覚生成器
105 通信ケーブルA
106 通信ケーブルB
107 基地局A
108 基地局B
201 香気吸引部
202 味覚抽出部

203 香気
204 物体
205 食品
206、312 容器
207、305、510 操作部
209 味覚成分
210 香気味覚成分分析部
211 香気味覚情報データ
212、303 制御部
213 香気味覚情報データ記憶部
214 香気味覚情報データ処理部
301 香気味覚情報データ
302 香気味覚情報データ解析部
304 香気味覚情報データ記憶部
306 香気味覚情報データ処理部
307 香気生成部
308 味覚生成部
309 香気放出部
310 香気
313 生成液体
401 ファイル名
402 識別フラグ
403 化学式
404 比率
501 アンテナ
502 無線部
503 信号処理部
504 CPU
505 外部接続端子
506 受話部
507 送話部
508 報知部
509 表示部
511 ROM
512 RAM
604 香気味覚発生器
701 香気味覚生成器
702 患者端末
703 インターネット
704 病院端末
801 香気味覚分析生成器

【図8】

【図9】

【図10】

【図11】

【図12】

《ファイル一覧》

File1
File2
File3
...
...

《電話番号》

0000-111-1111-1111
□□□□ 222-2222-2222
△△△△ 333-3333-3333
...
...

ファイル: File1
電話番号
0000 111-1111-1111

送信しますか?

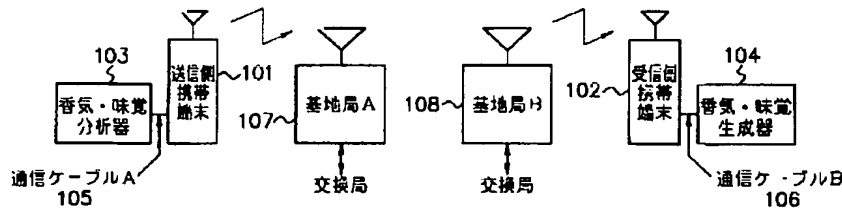
ファイル: File1

を受信しました

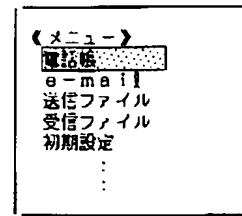
ファイル: File1

外部へ出力しますか?

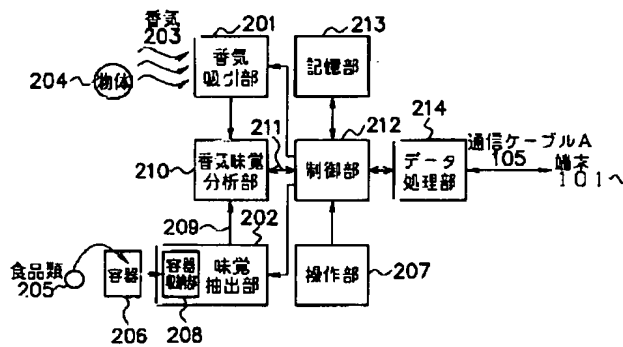
【図1】



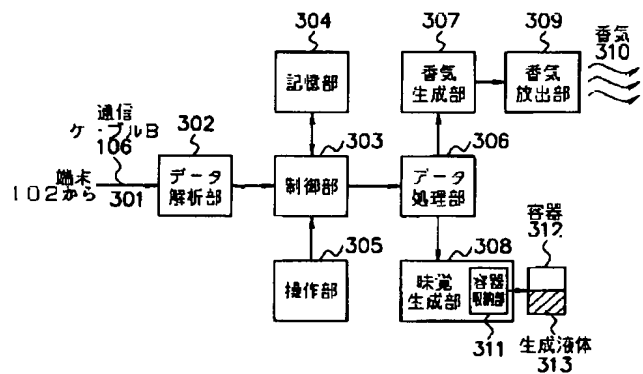
【図7】



【図2】



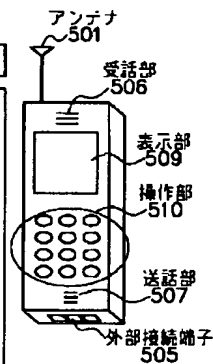
【図3】



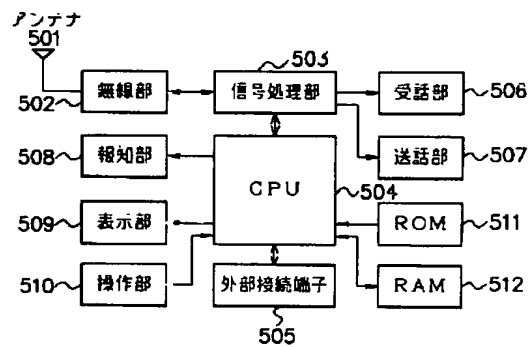
【図4】

401	402	403	404
ファイル名	識別フラグ	化学式	比率
File1	0	C12H22O2	36.4
		C11H20O2	22.8
		C12H16O2	16.7
		C10H20O2	10.5
		C13H10O2	6.5
		C14H24O2	5.2
		C10H18O	3.5
		C11H18O2	2.4
		CBH100	1.9
			0.3
File2	1	C10H16	26.3
		C10H18O	17.6
		:	:
		:	:
		:	:

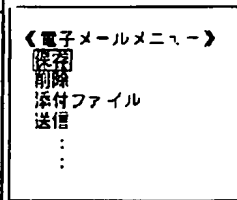
【図5】



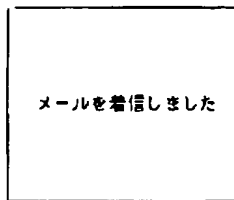
【図6】



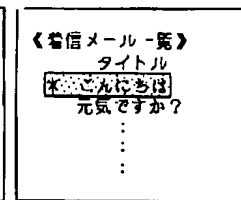
【図13】



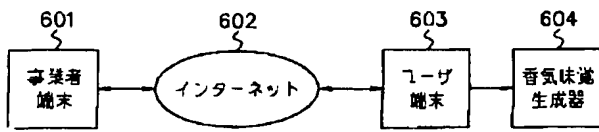
【図14】



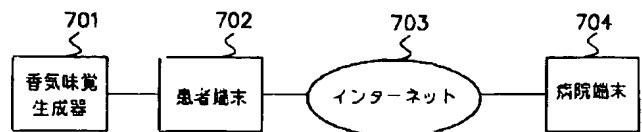
【図15】



【図16】



【図17】



【図18】

